

事例13:「発表会の劇作りをしよう」 5歳児(12月)

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)
との関連

③協同性 ⑧数量や図形、標識や文字などへの
関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い

これまでの姿

・これまでの発表会を振り返る中で「お母さんをびっ
くりさせたい!笑わせたい」「絵を描きたい」また、
昨年見た保育者の出し物の顔出しパネルの印象も残っ
ていたことから「顔出しパネルをやってみよう」等の
意見が出た。そして劇を顔出しパネルでやってみよう
と決まり、物語を選ぶことになった。

◎ねらい○内容

- ◎友達と協力しながら、共通の目的に向かって取り組む楽しさを知り、やり遂げる充実感を味わう。
- お家の人を驚かせたいなどの目標をもち、そのためにどうすればよいか考える。
- 友達と一緒にしたり助けってもらったりしながら、みんなで作り上げた喜びや、一緒にやり遂げる仲間がいることの喜びを感じる。
- 発表に必要な物や道具を自分達で準備したり、道具を適切に使ったりする。

架け橋期のカリキュラムとの関連
(遊びの中で経験させたいプロセス)

クラスの色々な友達とつながりをもつ
遊びや生活の集団が広がる
これまでの経験を生かす
満足感を味わう クラスの仲間と力を合わせる
自分の力を発揮する 友達と気持ちを通わせる
イメージや考えを交流する
失敗しても諦めない 本物らしさにこだわる
イメージを膨らませる
経験を生かして再現する

遊びの様子(番号:10の姿との関連)

図書室に物語を選びに行った。選びに行く前
に③⑨「描きやすい絵にしよう」「知っているお
話がいいな」と話し合った。馴染みのある昔話や
童話などを中心に選び、多数決で「ももたろう」
をすることになった。

配役を相談し、「僕は犬が好きだから犬役をや
りたいな」と話し合っていく中で、A児から③
「そうだ!紙に書いたら忘れんね」と提案があり、
役名と名前を書き出していくことになった。

配役が決まると、ボール紙を用いて自分の配
役の絵を描いていくようにした。大きなボール紙
に大きく描くことに苦戦していたが、⑨⑩「ここ
はこうやって描いてみたらいいで」と指で弧を描
きながらアドバイスしたり「もうちょっと膨らん
じゅうで」と言葉で知らせたりしていた。また、
絵本の色と同じように塗りたいが、何色と何色を
混ぜるといいか分からない時には保育者に尋ねて
いた。

パネルの絵もできあがり、練習が始まった。
「ももたろうは鬼退治に行くから歩くように(パ
ネルを)動かそう」「鬼は恐くセリフを言うとい
いよね」とパネルの動かし方やセリフの言い方な
どを考え、友達同士で伝え合っていた。

★環境の構成 ○保育者の関わり

○互いの考えや思いを伝えたり聞き入れたり、話
し合ったりできるよう、昨年度の写真を見せたりホ
ワイトボードに考えを書いたりし、子ども達が主体
的にやり取りできるようにする。

★様々な物語に触れることができるように、図書室
へ絵本を選びに行く。

★子どもがイメージしていることが達成できるよ
うに、必要な材料や道具を準備しておく。

○みんなで1つのものを作っていきという意識が
もてるように、子どものイメージを大切にしたり、
自分や友達の良さに目が向けられるよう、友達に
アドバイスしている姿を褒めたり、他の子どもに絵
のよいところを伝えたりする。

★描きたい時間に思い切り絵を描くことができよう
う、広いスペースや時間の確保をする。

★劇で子どものやりたい動き等ができるよう、十分
な広さの部屋を確保する。慣れてくると舞台も用意
する。

「劇作り(顔出しパネル)」 活動のプロセス

共通の目的に向かって、友達と
劇作りを楽しむ

★やりたい動きがで
きるよう十分な広
さを確保する。

○子どもの提案や良
さを言葉で伝え、広
げる。

劇に必要なパネル作りに取りか
かる

○配役を書くための
紙を用意する。

○図書室へ行くよう
提案する。

物語を何にするか考える

★互いの顔が見える
ように座り、可視化
物やホワイトボード
を使用する。

どんな発表会にするか伝え合う

遊びや学びのプロセス(10の姿)



⑧数量や図形、標識や文字などへの 関心・感覚

配役を書いておくと確認できるこ
とに気づき、活用する。



⑨協同性

どのような発表
会にするか互い
の思いや考えな
どを共有し、共通
の目的が実現す
る喜びを味わう。



⑩言葉による伝え合い

⑩豊かな感性と表現

絵を大きく描くことに苦戦してい
る友達の様子からどうしたらよ
いか言葉や身振りで伝えたり、表現し
たりしている。



小学校教員の気づき

◆子供達のやりたい思いを大切にしながら、劇を
成功させようという1つの目的に向かって取り組
む中で、自然と友達同士の関わりが生まれたり、
新たなアイデアが浮かんだりしていることを10の
姿を手がかりに小学校の教員同士共有したいと思
います。

◆子供達のやりたいと思う気持ち
を大切に、子供同士が話し合い
協力し合って取り組んでいる。こ
この話し合い活動を小学校でも活
かしたい。



保護者への発信ポイント

◆友達と絵を描く、色を塗る等、活動の1つ1つのやりとりの中
で、指で弧を描きながらアドバイスしたり、「もうちょっと膨らん
じゅうで」など、数量や図形に対する感覚、表現力が培われてい
ることを具体的に伝えていきましょう。